

ア ジ ア 日 誌

5月27日 — 7月16日

5月27日

- ◇トルコで軍部クーデター起こる。
- ◇北京で開催された中国人民解放軍文化教育積極分子代表大会終わる。
- ◇台湾銀行外国部、為替レート切り下げを発表。
- ◇タイ政府、タイ駐在米大使館の保護を強化。これは同大使館内で手榴弾その他が発見されたため。
- ◇北ヴェトナム中央選挙会議、第2期国会選挙結果につきコミュニケを発表。
- ◇ラオス政府、夜間外出禁止令を解除。
- ◇オランダ海軍、西イリアンに艦隊派遣を発表。
- ◇西独・インド両国、西独がインドに3000万ドルの借款を供与する協定に調印。
- ◇ヨルダン国王、10月に総選挙施行を発表。

5月28日

- ◇トルコにグルセル將軍を首班とする暫定内閣成立。
- ◇モンゴル訪問中の周恩来中国首相、ツェデンバル・モンゴル首相と会談。
- ◇コンゴ政党代表団、北京訪問。
- ◇北ヴェトナムの新聞報道によれば、全農家の5割が共同組合に加入したといわれる。
- ◇日本貿易業界代表とインドネシア貿易省の米綿委託加工交渉ジャカルタで開始。

5月29日

- ◇韓国の李承晩前大統領、ひそかに渡米。
- ◇カンボジアのシアヌーク殿下、週刊紙上で米援助拒否を示唆。
- ◇ネール・インド首相帰国。

5月30日

- ◇韓国治安局、北鮮スパイ掃のためスパイ検挙協力者への表彰制度を決める。
- ◇ラオスのコウ・アブバイ暫定内閣総辞職。
- ◇シンガポールのコー・ケンスウイ蔵相、総経費9億7000万マラヤ・ドルの開発5カ年計画を準備中と発表。
- ◇ビルマのネ・ウィン国防軍参謀総長、英米訪問に出発。
- ◇レバノン政府、ギニアに公使館設置を決定。
- ◇アラブ連盟とFAO(国連食糧農業機構)相互協力協定に調印。
- ◇インド各地で紛糾労働者スト。

5月31日

- ◇SEATO第6回理事会、ワシントンで開く。
- ◇中国・モンゴル友好相互援助条約調印。
- ◇チベットのラサ市に最初の製鉄所建設を着工。
- ◇京城で許政内閣退陣要求のデモ起こる。
- ◇ラオス新首相にチャオ・ソムサニット元内相が就任。
- ◇スバンドリオ・インドネシア外相、アジア諸国の東西首脳会談参加を要求。
- ◇DLF(米開発借款基金)、インドネシアの自動車工場建設のため260万ドルの借款供与。
- ◇インドのヒンズー・マハサバ党、年次大会でネール首相の非同盟政策の修正を要求。
- ◇パキスタンの計画委員会、運輸通信発展のための計画を発表。
- ◇パキスタン当局は、ICA(米国際協力局)と320万ドル余の経済援助を受ける協定に調印。
- ◇ビルマ政府、紡織品その他32品目の貿易を6月1日から国営商社で取

り扱うと発表。

- ◇米・ネパール両国、ネパールの農林開発その他の計画のため米国が100万ドルの援助を与える協定に調印。
- ◇低開発国援助会議特別委終わる。

6月1日

- ◇中国文教先進工作者代表大会開く。
- ◇周恩来首相、ウランバートルから帰国。
- ◇韓国外務省、京城・香港間の商業航空再開を発表。
- ◇韓国商工省、下半期貿易計画を発表。
- ◇来日中のタイ国経済視察団、日本タイ協力委設置を決める。
- ◇大阪製糖、タイの製糖会社と資本技術提携に調印。
- ◇スバンドリオ・インドネシア外相、中立国会議開催を提唱。
- ◇バンガード紙(ビルマ民族統一戦線機関紙)1日より復刊。
- ◇イスラエル・ネパール両国外交関係を樹立。

6月2日

- ◇第6回SEATO理事会終わる。
- ◇サイゴン紙の報道によると、フーロイ事件生存者は当局の手でユエに移動された。
- ◇ラオス新内閣成立。
- ◇ソ連、ニューギニア問題でオランダに警告。
- ◇日本からインドネシア向け船舶輸出入契約に調印。
- ◇パティル・インド食糧農業相は、「インドは、米印食糧協定実施後も引き続きビルマその他の国から米を輸入する」と述べた。
- ◇ブータン政府筋の情報によると、5月中旬からチベット西部セカール地方で激しい暴動が起こっている。

◇イラク政府、全保険会社に対し、保険金の預金を命令。

◇エジプト・仏両国、両国間の貿易正常化を通達。

6月3日

◇DLF (米開発借款基金)、南ヴェトナムに970万ドルの供与を発表。

◇ヴェトナム労働党機関紙ニャンザン、北ヴェトナムの農業現状に関する論文を発表。

◇インド国民会議派運営委員会、ブーナで開催。

◇インドのステーツマン紙によると、中印国境で中印軍の軍事行動が活発化している。

◇米通商使節団、イラク訪問。

6月4日

◇周恩来中印首相、キューバ訪問の招請を受諾。

◇コンゴ政党代表団、中国人民外交学会の招きにより中国訪問。

◇北ヴェトナムと仏政府は、ニューカレドニアと、ニューヘブリディズのヴェトナム人居留民約6500人の帰国に関する協定に調印。

◇カンボジア週刊紙、ラオス国軍のカンボジア領侵入を報道。

◇スカルノ・インドネシア大統領、世界旅行から帰国。

◇イラン・ソ連両国、5000万ドルにのぼる貿易協定に調印。

6月5日

◇アフリカ象牙海岸民族解放委員会のアシ・カミル・アダン議長、中国訪問。

◇北京で世界労連第11回理事会開く。

◇韓国当局、「李ラインは不変」と声明。

◇ハガチー秘書らマニラ着。

◇シアヌーク・カンボジア首相、中立政策を問う国民投票で大勝。

◇インド・インドネシア両国、訓練のための陸軍軍人の交流を含む軍事協定に調印。

◇インド占領下のカシミールの国境地域に2カ月間の夜間外出禁止令施行。

◇ナセル・アラブ連合大統領ら一行、ギリシャ・ユーゴ訪問に出発。

6月6日

◇6日の新華社によると、フィリピンの1961会計年度国防費は2億1000万ペソ（1億500万ドル）にのぼり、また米国は同国軍の核武装を活発に準備中。

◇南ヴェトナム軍は6日、共産ゲリラを掃討、60人を殺害。

◇南ヴェトナム国民議会は、仏政府が北ヴェトナムとの間にニューカレドニアのヴェトナム人引き揚げについて協定を結んだことに対し、抗議決議案の討議を開始。

◇ラオス愛国党中央委員会、総選挙のやり直しおよび民族連合政府の樹立を要求。

◇インド外務省のメータ中国局長、ゴパール資料部長ら、中印国境問題討議のため北京訪問。

◇イラク・東独両国、貿易協定書に調印。

6月7日

◇インドネシア政府、ソ連援助による鉄鋼工場建設契約に調印。

◇日本の東ボルネオ森林資源開発調査団出発。

◇インドのルールケラ製鉄所建設の従業員ストライキ。

◇インドのパンジャブ州アンバラ県で警官が地主と小作人との闘争で小作人に発砲。

6月8日

◇チベット初の婦人代表大会開く。

◇インドネシア・米両国、原子力平和利用協定に調印。

◇デザイ・インド蔵相、ユーゴ・ソ連など訪問のため出発。

◇ショアイブ・パキスタン蔵相、ワシントンで米国の対パキスタン援助追加同意を発表。

6月9日

◇米輸出入銀行、インドネシア政府に対する4750万ドルの借款を承認。

◇インド国防省当局、中印国境の軍事力増強のため軍用輸送機を購入。

6月10日

◇SEATO 理事会より帰国のセラノ・フィリピン外相、米国はサイドワインダー、オネストジョンなどの防衛兵器をフィリピンに設置する旨約束したと発表。

◇インド外務省、中印軍のインド領占領説を否定。

◇英政府、ヴェトナム国際監視委の第10回報告書を発表。

6月11日

◇西独・仏・イタリアの銀行、西パキスタンの水利電力開発公社に800万ドルの借款供与。

6月12日

◇韓国自由党、大会で所属議員の総辞職を勧告。

◇カンボジアのシアヌーク殿下、国家元首就任要請を受諾。

◇パンジャブ語を話す独立州設置を要求するシーク教徒、ネール首相の同要求拒否によりニューデリーで暴動。

◇インドのカシミール州首都スリナガルからの情報によると、中国は、ラダク地方近接国境にいくつかの飛行場を建設中。

◇レバノン国会議員選挙開始、7月3日まで各日曜ごとに総議席99について行なわれる。

6月13日

◇DLF (米開発借款基金)、韓国に110万ドル借款供与。

◇韓国国会、新憲法採択と議院内閣制実施を要求する決議案を可決。

◇ゴ・ジンジェム南ヴェトナム大統領、サイゴンの華僑総会に解散を命令。

◇カンボジア摂政会議解散。

◇日本・インド両国、日印租税協定を批准。

◇ビルマのカレン州で食糧ききん起こる。

6月14日

◇DLF (米開発借款基金)、台湾のガラス工場などに借款供与。

◇カンボジア国民議会議、国家元首開

題に関する憲法修正案を可決。

6月15日

- ◇中印国境問題当局者会談、北京で始まる。
- ◇中国政府、西部チベットへの巡礼を禁止。
- ◇韓国国会、憲法改正案を可決。内閣は同日新憲法を公布。
- ◇インドネシア政府、ハマースョルド国連事務総長に書簡を送り、オランダの西イリアン派兵に抗議。

6月16日

- ◇アフリカ連帯党書記代理、北京着。
- ◇中国航空、北京・ラサ直道空路テストに成功。
- ◇ソ連・インド両国、石油とガスの調査採掘に関する技術援助協定に調印。
- ◇インド石油使節団、採掘施設買い付けのため訪ソ。
- ◇インド・西独両国、インドの対西独繊維品輸出量の自由化に関する議定書に調印。

6月17日

- ◇東独のノイエス・ドイチュラント紙、中国の人民公社を批判。
- ◇DLF(米開発借款基金)、南ヴェトナム政府に970万ドルの借款供与。
- ◇カンボジア国民議会、シアヌーク殿下の國家元首就任を承認。
- ◇ジャカルタの共産主義者ら、新安保条約に反対して、日本大使館にデモ。
- ◇インドネシアの労組(SOBIS)、賃上げを要求。
- ◇インドのパンジャブ州で土地分配を要求する農民デモ起こる。

6月18日

- ◇アイゼンハワー大統領国府訪問。
- ◇日米新安保条約自然承認。

6月19日

- ◇インドネシア空軍、兵力増強を発表。

6月20日

- ◇韓国米3万トンの輸入交渉妥結。

◇チベット法律調査委(インド)、国際法律家委員会に、中国のチベット人大量殺害を報告。

◇シンガポールの与党人民行動党、オン国家発展相を除名。

◇メノン・インド国防相、スリナガル視察。

6月21日

- ◇SEATO 軍事計画課の第3回連絡委、バンコックで開く。
- ◇フィリピン警察、フク団の第3首領を逮捕。
- ◇南ヴェトナムの野党「自由進歩ブロック」、ゴ・ジンジェム大統領に不法逮捕禁止と表現の自由を要求。
- ◇南ヴェトナム教育省、華商経営の学校に対し中国語使用を制限。
- ◇ヤミン・インドネシア特別國務相来日。
- ◇インドネシア共産党機関誌、米企業の接収を要求。
- ◇スカルノ・インドネシア大統領、緊急事態地域におけるストを禁止。
- ◇パキスタン政府、第2次5カ年計画7月から実施を発表。

6月22日

- ◇韓国政府、教員組合の解散を決定。
- ◇北ヴェトナム、南ヴェトナムの「密集区」設置に抗議。
- ◇マラヤ連邦のラーマン内閣、国内治安法を可決。

6月23日

- ◇北朝鮮・ソ連両国、通商航海条約に調印。
- ◇カンボジアの元首シアヌーク殿下、中立堅持を強調。
- ◇マラヤ政府、ドル地域などからの輸入自由化を発表。
- ◇インドネシア教育相、ソ連へ留学生50人派遣を発表。
- ◇日米新安保条約批准書交換終わる。

6月24日

- ◇米農務省、韓国に米余剰農産物の買い付け資金供与。
- ◇韓国・日本両国、韓国米買い付けに関する覚え書きに調印。
- ◇パキスタン政府、新輸入政策を發

表。

◇アスワン・ハイ・ダム第2期工事設計始まる。

6月25日

- ◇南ヴェトナム政府、華商団体の解散とその資産接収を命令。
- ◇北ヴェトナム、全国農家の54%が農協に加入したと発表。
- ◇インドネシアの西ジャワ軍当局、中国人居留民を強制移住。
- ◇インドネシアの新議会(相互扶助議会)発足。
- ◇インド・ハンガリー両国、貿易支払い協定に調印。

6月26日

- ◇シンガポール労組協議会、南アの人種差別に抗議して同国商品ボイコットを決議。
- ◇ジュアンダ・インドネシア首席閣僚、訪ソに出発。
- ◇インド政府、ボカロ製鉄所の建設を決定。
- ◇コイララ・ネパール首相、チベットの戦闘のため同国の対チベット貿易中絶を発表。

6月27日

- ◇韓国の自動車運輸業者、アメリカと許政内閣の略奪に抗議して業務を停止。
- ◇中国・ビルマ国境画定委、ラングーンで開始。

6月28日

- ◇カンボジアにチェコ援助による発電所完成。
- ◇インドネシア共産党、新国会に対する共産党の協力を声明。
- ◇カリンボン発ロイクー電によると、10万余のチベット系遊牧民族が中共軍を避けて西部のチャンクン高原に移動しているといわれる。
- ◇ビルマ・ソ連両国、貿易協定の1年延長を発表。

6月29日

- ◇米農務省、中国の対チベット軍事行動を非難。
- ◇カンボジアのシアヌーク殿下、ポ・ブロン前首相に再度組閣を要請。

◇マラヤ中央銀行、公定歩合引き上げを発表。

◇スカルノ・インドネシア大統領、議会の開会式で、地方国家機構の改編を要請。

◇マラビヤ・インド國務相はソ連がインドの石油生産に対する援助を約束したと発表。

◇IFC (国際金融公社)、インドの耐火レンガ製造のため137万ドルの借款供与。

◇ウ・ス・ビルマ首相、同国内の残存国府軍の粉砕を発表。

◇ビルマに中国援助によるゴム工場完成。

◇ネパール政府、中国国境の Mustang が中国軍に襲撃され、死者1、逮捕15人と発表し、中国に対し嚴重抗議した。

◇イラクのモハマト・ハジド元蔵相ら政府に国民進歩党結成認可申請。

◇ヨルダン放送、シリアにアラブ連合に対する反抗を呼びかけた。

◇米農務省、アラブ連合に対し農産物買い付け権限付与。

6月30日

◇コンゴ共和国独立。

◇北京人民代表大会終わる。

◇インドネシア政府、地方議会の改編を発表。

◇英政府、インドの援助要請に対し1000万ポンドの借款供与を発表。

7月1日

◇チベットで初の手工業生産協同組合成立。

◇韓国政府、出版と政党結成の自由認む。

◇プミボン・タイ國王、SEATO への忠誠を強調したアメリカとの共同コミュニケを発表。

◇カンボジア国会、ポ・ブロン内閣を承認。

◇スカルノ・インドネシア大統領、重要企業のストを禁止。

◇西ジャワ軍当局、大規模な排華活動開始。

◇DLF、インド諸会社に8920万ドルの借款承認。

◇カルカッタ大学経済統計学部、カ

ルカッタ市に関する統計調査を発表。

◇インド政府直営のボーパール重電氣工場完成。

◇ネパール軍、国境に1万人増兵。

◇ヨルダン放送によると、100人以上のシリア将校がアラブ連合政権に反対したとの理由で逮捕された。

7月2日

◇周恩来中国首相、コイララ・ネパール首相に書簡を送り、国境衝突事件は中国軍の不注意と認む。

◇ヒンドスタン・タイムス紙によると、中国は5000人のチベット人工作員をインドに送りこんでいる。

◇韓国社会改新党、総選挙ボイコットを声明。

◇北スマトラ石油開発協力会社、開発地域の拡大を決定。

7月3日

◇韓国中央選挙委、立候補を締め切る。

◇セラノ・フィリピン外相、米国のキューバ糖輸入削減に伴うフィリピン糖輸入増加を歓迎。

◇インドネシアのチマヒで、軍当局華商婦人を射殺。

◇レバノン総選挙終わる。(6月12日～7月3日)

7月4日

◇中国政府、抑留中のネパール人を引き渡す。

◇中国・北鮮両国、科学院科学協力協定に調印。

◇韓国学生が選挙反対デモ。

◇ガルシア・フィリピン大統領、東南アジア同盟の結成を強調。

◇インドネシア政府、ソ連援助で製鉄所を建設する協定に調印。

◇インドのアッサム州で、言語問題でデモ隊と警察が衝突。

◇ネール・インド首相、ラダク地方を視察。

◇イスラエル最初の研究用原子炉運転開始。

7月5日

◇インド計画委員会、第3次5カ年計画発表に当たり、1次、2次の計

画の成果を発表。

◇第2回低開発国援助会議開く。

◇中国政府、国境問題解決のため国境委開催につき、ネパール政府に同意。

◇モンゴル人民革命党中央委開く。

◇香港の対中国貿易増加。

◇韓国不正選挙容疑者の公判開始。

◇北ヴェトナム国家計画委、60年度上半期の国産工業生産の大幅増大を発表。

◇英政府、ラオスに15万ポンドの援助を発表。

◇ソ連、U2型機事件でアラブ諸国に警告。

◇アラブ連合、キューバ糖5万トンを入力。

◇米・アラブ連合同盟、工業建設計画のための経済協定に調印。

7月6日

◇中国政府、軍縮問題で対ソ回答を手交。

◇中国・ビルマ国境画定合同委、コミュニケを発表。

◇モンゴル大フルラダグ(人民代表大会)、憲法改正案を採択。

◇マラヤ政府、南ア製品の輸入を禁止。

◇BBC 放送によると、過去数週間米外国財政援助をめくってシンガポール人民行動党内に重大な分裂が起こった。

◇ソ連とインドの学術交流拡大。

◇インド政府計画委、第3次5カ年計画草案を発表。

7月7日

◇キューバ労働者連盟代表団、北京訪問。

◇北ヴェトナム第2期国会開く。

◇ジャカルタの華商総会、スカルノ大統領に迫害停止を要請。

◇オランダ、東パキスタンに砂糖工場建設を発表。

7月8日

◇上海人民銀行の預金総額、前年同期の3倍余に急増。

◇モンゴル・東独両国、長期貿易協定締結。

◇朝鮮軍事休戦委、米軍の核兵器演習に抗議。

◇国府、外資導入のため入国手続き簡素化を承認、近く実施する。

◇フルシチョフ・ソ連首相とジュアンダ・インドネシア首席閣僚会談し、共同コミュニケを発表。

◇スカルノ・インドネシア大統領、報道管理機関を設置。

◇デサイ・インド蔵相、カイロ訪問。

◇ブラサド・インド大統領、公務員のストを禁止する権限を政府に与える大統領令を公布。

◇ナセル・アラブ連合大統領、国民連合大会で内外政策を発表。

7月9日

◇インドネシア国民党のサルトノ氏、石油会社国有化を要求。

◇インドの米英石油会社、インド政府のソ連石油精製依頼を拒否。

7月10日

◇ネパールに中国大使館開設。

◇ソ連外交官、ネパール政府の要求により同国を退去。

◇カトマンズからの報道によると、ネパール国境から64キロのシェカル・ゾンでチベット・中国の戦闘が続き難民5000人がネパールに逃げ込んでいる。

◇インドネシア銀行発表によると、同国のインフレは増大傾向にある。

◇インドのアッサム州で公用語問題をめぐる暴動続発。

7月11日

◇アイゼンハワー・米大統領、中南米援助政策を発表。

◇ソ連政府、米RB 47型機墜落事件で米、英、ノルウェーに抗議覚え書きを送る。

◇南ヴェトナムのロンアン省当局、政治犯64人を釈放。

◇中国政府、西ジャワ軍の華商殺害事件につき抗議。

◇スカルノ・インドネシア大統領誘かい未遂犯に終身刑判決。

◇ショアイブ・パキスタン蔵相、英国から500万ポンドの借款受け入れを発表。

◇ソ連・イラク両国、鉄道敷設に関するソ連の援助協定交渉開始。

◇ツォンベ・カタンガ州首相、カタンガのコンゴからの分離独立を宣言し、ベルギーの援助を要請。

◇コンゴ政府、秩序回復のため国連の介入を要請。

◇藤山外相、「U2型機は日本から撤去された」と発表。

7月12日

◇陳毅中国外交部長、ネパール青年代表と会見。

◇中国・ビルマ国境合同調査隊第1回会議閉会。

◇周恩米中国首相、国境問題でネパール首相に書簡。

◇タイ内閣、外資優遇法を承認し議会に付託。

◇ヴェトナム人民軍、国際委員会に対し南ヴェトナムの戦略道路建設に抗議。

◇SOBSI (全インドネシア労働中央組織)、米人所有企業の国有化を勧告。

◇インドネシア政府、新政党法を公布。

◇インド中央政府公務員、15州中14州でストに突入。

◇国境問題に関するインド・パキスタン共同委、国境協定実施に関する重要問題で合意し、閉会した。

◇トルコ国家統一委員会、新暫定憲法を發布し、正式に最高政治権力となる。

◇コンゴ政府、米に派兵を要請し、米はこれを拒否。

7月13日

◇カナダ協同連邦党代表团、中国訪問。

◇南ヴェトナム軍、共産ゲリラ掃討で41人殺害を発表。

◇タクラ・レバノン外相、米偵察機の基地使用を認めないと声明。

7月14日

◇マニラ紙、フィリピンに米国のサイドワインダーが到着しはじめたと報道。

◇インド公務員ストで約4000人を逮捕。

◇アラブ連合シリア地区と西独、同地区に対する西独の技術援助協定に調印。

7月15日

◇韓国政府、米たる29日の総選挙のため6都市の戒厳令を解除。

◇韓国の許政内閣、選挙を前に「不良分子」5000人を逮捕。

◇北鮮訪問中の世界民主青年連盟と国際学連代表团、在北鮮米軍の撤退を要求。

◇ネパール政府、将校殺害事件で中国に補償5万ルピー要求。

◇米蘭・フィリピン間の基地協定改定交渉難航。

◇北ヴェトナム人民会議、大統領以下国家首脳を選出。大統領ホー・チミン、副大統領トン・ドックタン。

◇インドネシア政府、政党集会禁止令を解除。

◇インド政府、公務員ストの労組側妥協案を拒否。

◇インド・ソ連両国、インドが3年間にソ連石油製品150万トンを買付け協定に調印。

◇アラブ連合・チェコ両国、チェコが精油所を建設する協定に調印。

◇国連軍第1陣コンゴ到着。

◇日本で新安保条約に反対する統一デモ起こる。

7月16日

◇中華全国总工会とキューバ労連、キューバの対米闘米支援で共同声明発表。

◇李韓国前大統領の機密書類を押収。

◇カンボジア・西独両国、貿易協定に調印。

◇インドネシア軍当局、ハリアン・ラキヤット紙に無期停刊命令。

◇インド公務員スト、組織下部からのスト指令返上が続出し、16日で無条件打ち切り。

◇カルカッタで言語問題をめぐってゼネスト。

◇パキスタン政府、米蘭から50万トンの小麦輸入を発表。

◇英軍のセイロン撤退完了。